

高校公民プリント（過去問類似）
公共、倫理（2025年～の共通テスト本試験）
No.2

名前

得点

/9

問1 未開とされる社会の婚姻規則や神話を分析する構造主義の手法を用い、西洋中心的な進歩史観を批判して、それぞれの文化が固有の価値を持ち、文化の間に優劣はないとする考え方の基礎を築いたフランスの文化人類学者は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. チャールズ＝パース 2. アンリ＝ベルクソン 3. カール＝ヤスパース 4. レヴィ＝ストロース

問2 ICTを活用した公共空間における関わりが多様化する一方で、情報通信技術を利用できる人とできない人の間で、情報の入手や社会参加の機会に格差が生じることが問題視されている。このような、情報通信技術の利用環境や能力の違いによって生じる社会的・経済的な格差を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. サイバー・アタック 2. デジタル・デバイド 3. デジタル・タトゥー 4. フェイク・ニュース

問3 近代日本の思想において、留学先での体験をもとに個の目覚めを描く一方で、国家や社会の現実との矛盾に直面した人物がいる。彼は、世俗といたずらに衝突して自己を破滅させることを避け、同時に世俗に埋没することもなく、矛盾を抱えたまま生きていく「レジグナシオン（諦念）」の境地を重視した。この思想的立場を示した文学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 森鷗外 2. 陸羯南 3. 泉鏡花 4. 小野梓

問4 現代の社会保障において、病気や失業、あるいは急激な社会変動による貧困などの生活上の困難に直面した際、人々が深刻な事態に陥るのを防ぎ、最低限の生活を保障するために多重的に機能する社会的な安全網や制度を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ノーマライゼーション 2. ナショナルミニマム 3. ワークフェア 4. セーフティネット

問5 平安中期の日本では、末法思想の到来とともに、阿弥陀仏の救いを求める浄土信仰が盛んになった。この時期に、地獄と極楽の様相を対比的に描き出し、仏の姿や極楽を心に思い描く「観想念仏」を重視して、のちの鎌倉仏教の先駆となった僧侶は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 空也 2. 源信 3. 空海 4. 最澄

問6 第二次世界大戦後の日本を代表する政治学者・思想史家であり、日本の思想状況について、外来の様々な思想が歴史的な対決や統合を経ることなく、新旧の思想がただ並列的に共存している状態を表現して批判的に分析した人物は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 吉本隆明 2. 鶴見俊輔 3. 丸山真男 4. 大塚久雄

問7 ガンディーの思想を発展させ、独裁体制に対して武力を用いずに抵抗する理論を体系化したアメリカの政治学者。市民が自主的な非政府団体を組織して社会の自律性を高め、権力への依存を断ち切ることで、独裁権力を崩壊に導くことができると主張した人物は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ジーン・シャープ 2. ハンナ・アーレント 3. ロバート・ノージック 4. ジョン・ロールズ

問8 行為が道徳的に正しいとされるのは、それが同情心や自己の利益といった傾性（欲求）からではなく、ただ「なすべきだからなす」という純粋な義務感（義務への敬意）のみを動機としてなされた場合であると主張し、道徳法則を自律的に遵守する人格の尊厳を説いたドイツの哲学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. カント 2. ルソー 3. ロック 4. コント

問9 人間の精神構造において、親の命令や社会規範が内面化された超自我が、無意識のうちに原始的な衝動を抑圧し、罪責感を通じて行動を制御しているとする理論を唱え、無意識の領域の解明を通じて精神分析学を創始したオーストリアの精神医学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. アドラー 2. マズロー 3. ピアジェ 4. フロイト

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 4 レヴィ=ストロース	構造主義の立場から、未開社会の親族関係や神話を分析し、西洋近代の理性を絶対視する歴史観を批判した。彼は、すべての文化が独自の論理と価値を持つことを示し、文化の多様性を認める姿勢を強調した。
問2	答え 2 デジタル・デバイド	ICTを用いた公共空間での関わり（オンラインでの意見表明や合意形成など）が広がるにつれ、インターネット環境の有無やITリテラシーの差が、そのまま社会参加や政治参加の機会の格差につながる懸念がある。この情報格差は、公共的な議論の公平性を確保する上での重要な課題となっている。
問3	答え 1 森鴎外	ドイツ留学を経験した森鴎外は、近代的な自我の確立と、当時の日本の封建的な家制度や国家体制との間の矛盾に苦しんだ。彼は、自己を貫き通して社会と衝突するのではなく、また社会に完全に同化するでもない、矛盾を抱えながら生きる「諦念（レジグナシオン）」の態度を重んじた。
問4	答え 4 セーフティネット	病気や失業、貧困などの生活上のリスクに対して、社会全体で最低限の生活を保障し、破綻を防ぐための多重的な仕組みをセーフティネットと呼ぶ。これは、サーカスの空中ブランコなどで落下した際の安全網に由来する言葉であり、社会保障制度や雇用保険、生活保護などがその具体例として挙げられる。これに対し、ディーセント・ワークは「働きがいのある人間らしい仕事」を指し、ボランティアは自主的な社会奉仕活動を指すため、区別が必要である。
問5	答え 2 源信	平安中期の僧である源信は、著書『往生要集』において「厭離穢土・欣求浄土」を説き、極楽往生の手立てとして阿弥陀仏の姿や極楽を心に思い描く「観想念仏」を重視した。これはのちに口称念仏（専修念仏）を唱える法然らに大きな影響を与えた。
問6	答え 3 丸山真男	日本の思想史において、外来の思想が歴史的に蓄積・体系化されず、新旧の思想がただ「雑居」している状態を批判的に分析した。著書『日本の思想』などで知られ、戦後民主主義の思想的支柱となった。
問7	答え 1 ジーン・シャープ	ガンディーの非暴力思想をさらに発展させ、独裁体制に対する具体的な抵抗手段として体系化したのがジーン・シャープである。彼は、市民が自主的な非政府団体を組織して社会的なネットワークを形成し、相互に連帯することで、独裁権力に対する社会の抵抗力と自律性を高めることができると説いた。
問8	答え 1 カント	行為が道徳的に善であるための条件として、目に見えない内面的な動機を重視した。単に結果が義務にかなっているだけ（義務合致的）では不十分であり、義務に対する純粋な敬意からその義務を果たすという動機（義務に基づく行為）のみを道徳的に善とした。自らの理性によって立てた道徳法則に自発的に従うことを「自律」と呼び、これを行える主体を「人格」として尊重した。
問9	答え 4 フロイト	人間の無意識の領域に着目し、精神分析学を創始した。彼は、人間の精神構造を「エス（イド）」「自我」「超自我」の3つの領域から説明し、親の命令や社会規範が内面化された超自我が、無意識のうちに原始的な衝動を抑制し、道徳的な良心や罪責感を生じさせて行動を制御すると主張した。